

こうちの漁業応援プロジェクト

金子ひかる

高知県立図書館（オーテピア高知図書館）

1.はじめに

地方において、人口の都市への流出は大きな社会問題の1つである。なかでも高知県は人口減少率が全国第4位と、人口の自然減少・社会減少が全国に先駆けて進行している¹。

今回は、この高知県の人口流出の問題に対し、高知県の産業と図書館の強みを活かしてできる取り組みとして「こうちの漁業応援プロジェクト」を提案したい。

2.事業の背景

2-1 高知県の人口流出

高知県は、全国より15年先行して1990年から人口が自然減に陥り²、人口減少による経済の縮みが人口の県外流出を招いている。出生人数よりも死亡人数が勝ってしまっていることに加え、一定人数が他県へ移住していることが、人口減少の要因だと言われている。

他県への人口流出は、地元「働く場」がないことがひとつの原因とされ、若者が地域に定着していけるための仕事が求められている。

2-2 高知県の産業

高知県は太平洋に面しており、東西713kmの海岸線を有する。年間平均気温は17℃と温暖で、冬場は晴天が多く日照時間が全国上位である。豊富な水資源と温暖な気候を活かした漁業や農業が盛んで、高知県の第一次産業就労者比率は全国第2位³となっている。

とくに漁業は、漁業算出額全国第8位⁴と活気がある。カツオや清水サバなど全国的に有名な魚介類も多い。

2-2-1 高知県の漁業支援

漁業の就労者は、全国的に減少が続いている。その原因としては、少子高齢化に加え、「専門性が高く難しそう」「体力が必要」「不安定」等のイメージが強いことが挙げられる。

高知県では、こういった負のイメージを払拭できるよう、働きやすい漁業環境を整える様々な取り組みを行っている。

取り組みの内容としては、例えば「短期研修事業」がある。これは、漁業を志す人に、漁業とその土地の雰囲気を経験してもらうもので、移住後に「思っていたのと違う」というギャップが生じないようにする目的がある。実際、2018年～2020年の間に制度を利用した人は県内外の65人で、その約半数が就業または移住をしている⁵。

また、一部の漁協では「サラリーマン漁師」と呼ばれる雇用形態を取り入れている。これは、漁での売上げが給与という形で組合員に支払われ、勤務時間は朝の5時過ぎから午後2時頃までの8時間、毎週土曜日が休みという仕組みである。その他、ボーナスや有給休暇、夏休みもあり⁶、漁業の「安定しない」といったイメージの払拭に努めている。

その他にも高知県では、独立して漁業を営むために必要となる漁労技術の習得や、船舶免許や漁船の取得等の支援を行っている⁷。

2-3 オーテピア図書館の特徴

オーテピア高知図書館は、高知県立図書館と高知市民図書館が合築して2018年に開館した図書館である。「情報提供機関として地域を支える図書館」「県民・市民の資料要求に応え、課題解決の支援ができる図書館」等を基本方針として、サービスを行っている⁸。

資料の所蔵は約150万冊と、幅広い情報を取り揃えている。また、高知市の中心街に立地していて交通の便も良く、利用者が立ち寄りやすい環境にある。

3.事業案

3-1 概要

多様な資料を所蔵する図書館の強みを活かして、高知県の漁業やその魅力、就業時に受けられる支援制度等に関する情報を発信する。その手段として「ひろめ市場でのパネル展示」「YouTube 動画の作成」「図書館内への漁業応援コーナーの設置」「出前図書館」を実施する。

3-2 目的

この事業の目的は、高知県で漁業に就労する県民、また漁業の担い手として高知県に移住する人を増やすことである。

周りを見渡してみると「魚・海・釣りが好き！」という人は多い。しかし、本人やその親が漁業という職業をよく知らないため、新卒就職時の選択肢やUターン就職の選択肢に挙がらないという側面も強いように感じる。また、身近に田畑がある農業と違い、船に乗って沖で作業する漁業の仕事は見えにくく、就業へのハードルが高く感じられるのではないかと想像する。

図書館として、漁業に関する情報を広く収集・発信することで、担い手の増加につなげたい。

3-3 対象

対象者は、高知県民と、高知県へのIターンやUターンを考えている人を想定している。

高知県民は、カツオの消費量が全国一を誇るなど、魚好きな傾向がある一方、漁業とい

う職業についてはよく知らない人が多い。そこでまずは県民に向けて、パネル展示や漁業応援コーナーを通して、漁業に関する多面的な情報を届ける。そして、その情報が県民から県外在住の親族へと発信されることにも期待する。

また、観光や帰省等で高知県を訪れている方や、県外在住の方に対しても、パネル展示や YouTube 動画等を活用して働きかけを行う。

3-4 具体策

3-4-1 ひろめ市場でパネル展示

魚介類を手に入れる際、私たちは食べものとお金とのやりとりを行うのみで、生産者の仕事や顔を見ることができない。そこで図書館として、漁業者がどのような方法で、どんな気持ちでその魚介類を捕っているのか、食材の背景にある物語を、パネル展示という形で消費者に伝えたい。そうすることで、消費者が漁業の価値を再発見し、仕事にも興味を持ってもらえるのではないかと期待する。

パネル展の実施場所としては、オーテピア高知図書館の隣に立地する「ひろめ市場」を想定している。ひろめ市場とは、高知県を代表する観光スポットの一つで、地元の魚介類を使った料理が楽しめるフードコートである。年間約 300 万人が来場し、平日は地元客が多いが、休日は県外客が 7 割を占め、県民と県外客の双方に情報を届けることができる⁹。

このひろめ市場で魚料理を提供している店に、高知県で行われている漁業の種類や漁業者へのインタビュー、また、漁業就業のための支援制度等に関するパネルを設置したい。パネルの作成にあたっては、一般社団法人高知県漁業就業支援センターに協力を依頼する。

3-4-2 YouTube 動画の作成

YouTube は、日本国内で 6000 万人以上が利用しており、世代・性別を超えて普及しているサービスである。全国の人に、高知県での暮らしぶりや、土地や人がもつ雰囲気伝えることができるため、ぜひ活用したい。

動画の内容としては、「県外在住の青年が高知県に移住して漁師になり、漁村で暮らすとどうなるのか？」という 3 分間の疑似体験映像を作成したい。動画中で主人公は、情報収集のために図書館も活用し、各種支援制度を活用しながら漁師になっていく。その成長をストーリー仕立てで発信することで、移住を考えている人の気持ちを後押ししたい。撮影や編集等の技術的な部分は、動画制作会社に委託する。

ただ、YouTube は手軽に発信できる一方で、多くの競合チャンネルが存在し、投稿した動画が埋もれてしまうことが多い。実際、オーテピア高知図書館公式 YouTube チャンネルの掲載動画も、再生回数が 1000 回以下のものがほとんどである。

そこで、動画の紹介を、高知県須崎市の漁師で YouTuber の「須崎うみんちゅ 嘉征」氏に依頼する。嘉征氏のチャンネルは、登録者数が約 2.5 万人で、掲載動画の中には閲覧数

が100万回を超えるものもある¹⁰。視聴者には漁業に興味がある方も多いため、動画をご紹介いただく効果は大きいと期待する。また、視聴者によるSNSや口コミ等での情報拡散も狙いたい。

3-4-3 出前図書館の実施

一般社団法人高知県漁業就業支援センター主催の漁業就業支援フェアや、一般社団法人高知県移住・人材確保センター¹¹主催の移住促進イベントに出向き、高知県や漁業に関する図書の展示・貸出を行う。網羅的に情報を持っている図書館の強みを活かし、多面的な情報を提供したい。

また、移住をしてもらうためには、特に若者や子育て世代が希望を持って働き、暮らせることが重要だと考える。子育て支援や健康安心サービス、ビジネス支援サービスなど、オーテピア高知図書館が行っている取り組みも積極的にPRする。

3-4-4 漁業応援コーナーの設置

ビジネス関係の図書を集めたフロア内に、「漁業応援コーナー」と銘打って漁業の魅力をPRする書架を設置する。「オーテピア高知図書館は、高知の漁業を応援します！」をキャッチフレーズに、業界情報や職業紹介、体験談等の資料を並べ、各種支援制度に関するパンフレットの配布も行う。また、魚料理のレシピ本等、魚に関連する資料のブックリストや所蔵場所マップも作成し、漁業の魅力を発信していきたい。

4.おわりに

「ネットも電子書籍もあるし、図書館は必要なくなるのではないか」という旨のことを知人から言われたことが何度かある。インターネットが普及した現代において、図書館の必要性があまり認知されなくなっていることを実感する。

しかし、網羅的に情報を所有する図書館の強みを生かせば、まだまだ図書館は地域の課題解決に貢献できる。そのことを、ワークショップをはじめとする本講習会を通して再確認できた。そして、その図書館の価値を、図書館員がどんどん外に出てPRする必要があると痛感した。

また、常世田講師の「ホスピタリティ」というキーワードにもハッとしました。情報面だけでなく、心理面に対しても利用者を支援することができることは、図書館の大きな強みのひとつである。窓口対応やレファレンスの際には、ただ業務として対応するのではなく、よりもてなしの心をもって接し、情報弱者には、何が必要か丁寧に聞き出して提供する等、利用者の満足度がアップするような接遇を意識していきたい。

最後に、本講習会では、全国の図書館員の皆さんと交流ができたことも大変実りある経験であった。特にワークショップでは、各地域の課題に対する皆さんの視点や気づきが、

自分にはないものばかりで勉強になった。企画を作り上げる過程も強く印象に残った。
講師の先生方、受講生の皆さん、貴重な経験をありがとうございました。

¹ 高知県 HP「高知県の人口データ」

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/120801/jinkoumondai.html>

² 高知県 HP「高知県の人口データ」

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/120801/jinkoumondai.html>

³ 『県政の主要指標 令和3年度版』高知県 2022

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/121901/files/2021072800341/R03-kenseinosyuyousihyou.pdf>

⁴ 『県政の主要指標 令和3年度版』高知県 2022

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/121901/files/2021072800341/R03-kenseinosyuyousihyou.pdf>

⁵ 一般社団法人高知県移住・人材確保センター ウェブ・サイト

<https://kochi-ryoushi.jp/fisherman/>

⁶ 笠原雅俊.室戸の漁師へ、若者4人選出 椎名大敷組合4月「入社」.朝日新聞 2020-02-07 朝刊, p.23

笠原雅俊.室戸で漁師デビュー 椎名大敷組合・坂口さん 昨夏に職場体験、東京の元球児.朝日新聞 2019-05-10, 朝刊, p.23

⁷ 一般社団法人高知県漁業就業支援センター ウェブ・サイト

<https://kochi-ryoushi.jp/>

⁸ オーテピア高知図書館について

<https://otepia.kochi.jp/library/about.html>

⁹ ひろめ市場ウェブ・サイト

<https://hirome.co.jp/>

¹⁰ YouTube「須崎うみんちゅ 嘉征」チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCJnLVU_NgLmpwxSVjRembSQ

¹¹ 一般社団法人高知県移住・人材確保センター ウェブ・サイト

<https://kochi-iju.jp/>